2025年3月期 第1四半期 決算補足説明資料



株式会社オープンドア (証券コード: 3926)



- 1. ハイライト
- 2. レジャー旅行市場の業界動向
- 3. 2025年3月期 1Q業績概要
- 4. 2025年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2025年3月期 業績予想・今後の成長施策等
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料



1. ハイライト

- 2. レジャー旅行市場の業界動向
- 3. 2025年3月期 1Q業績概要
- 4. 2025年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2025年3月期 業績予想・今後の成長施策等
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

ハイライト



■ レジャー旅行市場の業界動向

インバウンドや業務渡航の旅行市場については順調に回復が進んでいるものの、日本人のレジャー旅行市場は国内・海外ともに円安による旅行費用の高止まりが続いており、旅行市場の回復ペースは鈍化傾向が継続しているが、2024年7月末から円高が進行しており、これが続けば旅行費用が下がり年末に向けてレジャー旅行市場の回復が期待される *5ページ参照

■ 2025年3月期 1Q実績

- 売上高 **592百万円**(前期1Q比 ▲**9.2%**、2020年3月期1Q比 ▲**54.3%**)
- 営業利益 ▲62百万円(前期1Q実績 14百万円、 2020年3月期1Q実績 558百万円)
- 旅行費用の高騰による日本人のレジャー旅行需要の停滞が続いており、売上高及び営業利益は前期を下回り着地

■ 2025年3月期 業績予想

• 日本人のレジャー旅行市場は現在、円安等のマクロ要因によるブレ幅が大きく、精度の高い予測が難しいことに加えて、状況によってマスプロモーション施策も流動的となるため、現時点では2025年3月期の業績予想を「未定」とするが、精度の高い予測が可能になった時点で開示をする

■ 今後の成長施策等

- 旅行市場:2024年7月末から円高が進行しており、これが続けば旅行費用が下がり年末に向けてレジャー旅行市場の回復が期待される
- サイト競争力:「トラベルコ」は旅行商品の網羅性、最安値率、利便性、顧客満足度において高い競争優位性を保持 *17,18ページ参照
- プロモーション:市場の状況を見ながら適切なプロモーション施策を実施することで、ブランド及び上記優位性の認知率をさらに高める
- リニューアル: SEOを含めた幅広いリニューアル施策を予定しており、さらなるサイト利便性の向上と自然検索流入の増加を見込む
- ターゲット市場:トラベルコの新メニュー(クルーズ等)、旅行会社向けサポートシステム、海外版トラベルコ等によりターゲット市場 をさらに拡大する

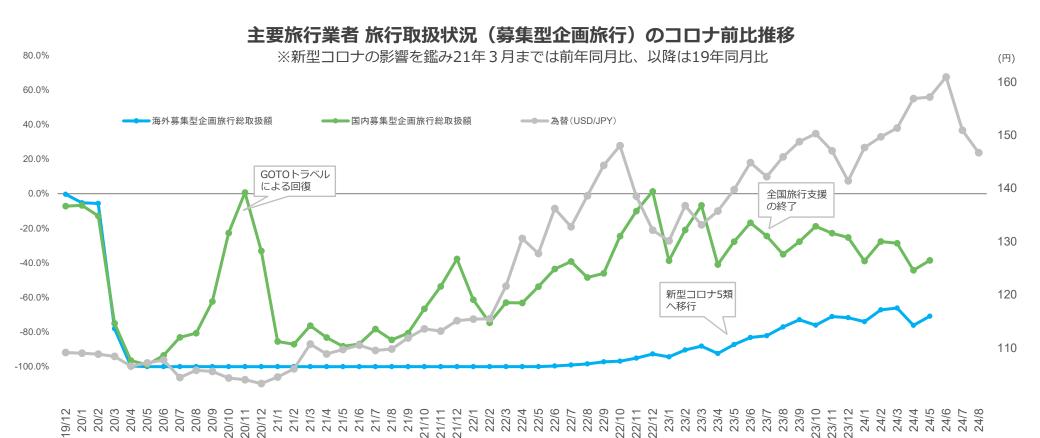


- 1. ハイライト
- 2. レジャー旅行市場の業界動向
- 3. 2025年3月期 1Q業績概要
- 4. 2025年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2025年3月期 業績予想・今後の成長施策等
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

レジャー旅行市場の業界動向



- レジャー旅行市場の需要と連動率の高い「募集型企画旅行」の取扱額を表示
- インバウンドや業務渡航の旅行市場については順調に回復が進んでいるものの、日本人のレジャー旅行市場は国内・海外ともに 円安による旅行費用の高止まりが続いており、旅行市場の回復ペースは鈍化傾向が継続しているが、2024年7月末から円高が進 行しており、これが続けば旅行費用が下がり年末に向けてレジャー旅行市場の回復が期待される



出典:観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」、日本銀行「時系列統計データ検索サイト」をもとに当社作成 ※2024年8月の為替(USD/JPY)については2024年8月7日のものを使用



- 1. ハイライト
- 2. レジャー旅行市場の業界動向
- 3. 2025年3月期 1Q業績概要
- 4. 2025年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2025年3月期 業績予想・今後の成長施策等
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

2025年3月期 1Q 業績概要 / 損益計算書



● 旅行費用の高騰による日本人のレジャー旅行需要の停滞が続いており、売上高及び営業利益は前期を下回り着地

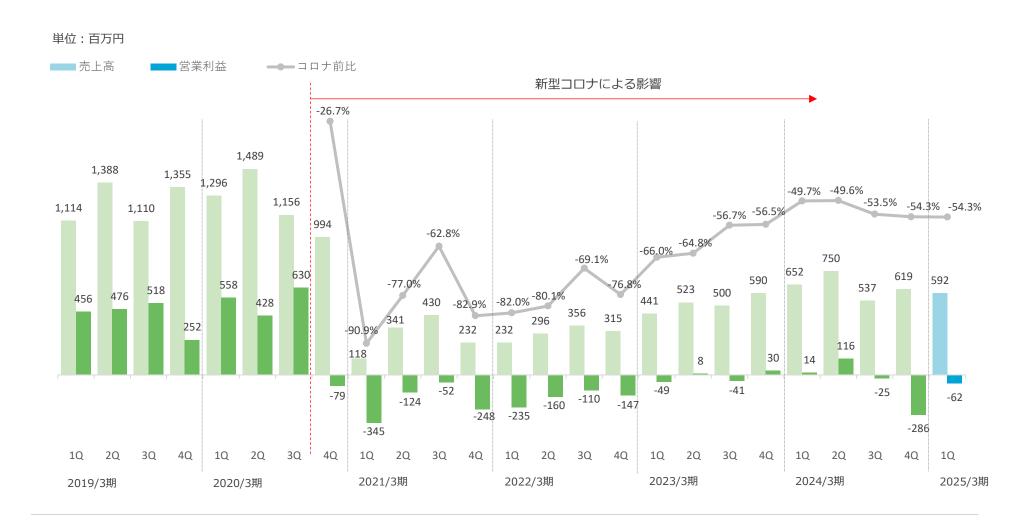
単位:百万円					2024/3	2025/3		
					1 Q実績 (前期)	1 Q実績 (当期)	増減額	2024/3 1Q比
売		上		高	652	592	-60	-9.2%
	売	上	原	価	233	251	+17	+7.5%
売	上	総	利	益	418	340	-77	-18.6%
則	反売費及	うび-	一般管	理費	403	402	-0	-0.2%
営	業		利	益	14	-62	-76	-
経	常		利	益	20	-61	-81	-
当	期	純	利	益	0	-62	-63	-
営	業	利	益	率	2.3%	-	-	-

2020/3	2020/2
1Q実績	2020/3 1Q比
	(コロナ前比)
1,296	-54.3%
165	+52.3%
1,131	-69.9%
572	-29.7%
558	_
559	_
348	-
43.1%	-

2025年3月期 1Q 業績概要 / 四半期業績推移



● 新型コロナによる直接的な影響が落ち着いたことにより、売上高は旅行需要の季節トレンドに徐々に戻りつつある





- 1. ハイライト
- 2. レジャー旅行市場の業界動向
- 3. 2025年3月期 1Q業績概要
- 4. 2025年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2025年3月期 業績予想・今後の成長施策等
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

2025年3月期 1Qの取り組み



1Qは41件の開発案件をリリース、更に82件以上の案件が進行中

最近のリリース一例

インボイス対応可否表示

・航空券、ダイナミックパッケージ、 パッケージツアー、高速バス等主要メ ニューでインボイスの対応可否を表示



人気ランキング情報表示

・ツアーの人気ホテルやオプショナルツアーの人気エ リア等を目的地別のランキング形式で表示



情報コンテンツの充実

・海外観光スポット情報が大幅拡充 国ごとの観光スポットランキングから各スポット基本情報 や周辺観光情報まで網羅





- 1. ハイライト
- 2. レジャー旅行市場の業界動向
- 3. 2025年3月期 1Q業績概要
- 4. 2025年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2025年3月期 業績予想・今後の成長施策等
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

2025年3月期 業績予想・今後の成長施策等



【業績予想】

日本人のレジャー旅行市場は現在、円安等のマクロ要因によるブレ幅が大きく、精度の高い予測が難しいことに加えて、状況によってマスプロモーション施策も流動的となるため、現時点では2025年3月期の業績予想を「未定」とするが、精度の高い予測が可能になった時点で開示をする

【今後の成長施策等】

・旅行市場

2024年7月末から円高が進行しており、これが続けば旅行費用が下がり年末に向けてレジャー旅行市場の回復が期待される

・サイト競争力

「トラベルコ」は旅行商品の網羅性、最安値率、利便性、顧客満足度において高い競争優位性を保持 * 17,18ページ参照

- 『日経トレンディ』 2024年3月号の旅行比較サイト調査において「総合力BEST」を獲得
- 2024年オリコン顧客満足度®ランキング 航空券・ホテル 比較サイトにおいて総合・評価項目別・部門別全てで第1位を獲得
- ・プロモーション

市場の状況を見ながら適切なプロモーション施策を実施することで、ブランド及び上記優位性の認知率をさらに高める

・リニューアル

SEOを含めた幅広いリニューアル施策を予定しており、さらなるサイト利便性の向上と自然検索流入の増加を見込む

・ターゲット市場

トラベルコの新メニュー(クルーズ等)、旅行会社向けサポートシステム、海外版トラベルコ等によりターゲット市場をさらに 拡大する



- 1. ハイライト
- 2. レジャー旅行市場の業界動向
- 3. 2025年3月期 1Q業績概要
- 4. 2025年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2025年3月期 業績予想・今後の成長施策等
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

今後の主な取り組み予定 / トラベルコ





- 市場ニーズに対応したプロモーション
- 既存メニューのリニューアル及び機能強化
- 新規連携強化による商品情報の拡充
- 国内及び海外の人気スポットなどの観光情報拡大
- 各メニューのクチコミ・評価サービス拡充
- 比較サービスのメニュー拡大 (クルーズ・民泊・アウトドア・日帰りレジャーなど)
- 旅行会社向けサポートシステムの開発
- サイトデザインリニューアル
- チャットAIサービスの拡充

今後の主な取り組み予定 / TRAVELKO





- 現地大手サイトとの連携強化による価格優位性の確立
- ユーザーインターフェース ローカライゼーション強化
- アプリ版TRAVELKOの機能拡充
- ■観光情報の拡充
- SEO強化、プロモーションの実施



- 1. ハイライト
- 2. レジャー旅行市場の業界動向
- 3. 2025年3月期 1Q業績概要
- 4. 2025年3月期 1Qの取り組み
- 5. 2025年3月期 業績予想・今後の成長施策等
- 6. 今後の主な取り組み予定
- 7. 参考資料

プレスリリース



『日経トレンディ』 2024年3月号 (2024年2月2日発売) の旅行比較サイト調査で「総合力BEST」を獲得!

国内、海外の旅行比較サイト主要7サイトの中で、 最安値を最も多く掲載し、 「検索力も操作感も秀逸」として最高評価を獲得!

日経トレンディが国内海外の主要な旅行比較サイト7社を独自に調査し評価した特集において、トラベルコは最安値を最も多く 提示したサイトとして紹介。また、サイトの見やすさや入力のしやすさ、検索結果が出るまでのスピード感も評価対象としてお り、トラベルコは「検索力も操作感も秀逸」であるとして、5つ星を獲得。AIチャット(アプリ版とChatGPTプラグイン)の サービス提供を行っている点も評価された。

▼本調査詳細

https://www.tour.ne.jp/award2024/





■日経トレンディとは

個人生活を刺激する流行情報誌。快適な生活をエンジョイするための製品や、サービスの最新の動きを消費者の視点で徹底検証。デジタル製品から、家電、住宅、金融商品、ホテル、旅行など多岐に渡りカバーしている。

https://info.nikkeibp.co.jp/media/TRE/

プレスリリース



2024年 オリコン顧客満足度®ランキング 航空券・ホテル 比較サイトにおいて総合・評価項目別・部門別全てで第1位を獲得!

株式会社oricon MEが2024年3月1日に発表した、2024年 オリコン顧客満足度®ランキング「航空券比較サイト」「ホテル比較サイト」において、総合・評価項目別・部門別全てで第1位を獲得。

航空券比較サイト 調査企業数:7社				
総合ランキング				
評価項目別ランキング 全4項目	サイト・アプリの使いやすさ	1位		
14 4月日	検索のしやすさ	1位		
	検索結果の充実さ	1位		
	比較のしやすさ	1位		
部門別ランキング 全3項目	国内航空券	1位		
土3块口	海外航空券	1位		
	アプリ	1位		

ホテル比較サイト 調査企業数:12社				
総合ランキング	総合ランキング			
評価項目別ランキング 全4項目	サイト・アプリの使いやすさ	1位		
主 ⁴ ·项目	検索のしやすさ	1位		
	検索結果の充実さ	1位		
	比較のしやすさ	1位		
部門別ランキング 全3項目	国内ホテル	1位		
土3块口	海外ホテル	1位		
	アプリ	1位		

▼本調査詳細

航空券比較サイトランキング

https://life.oricon.co.jp/rank-bargain-airline-website/

ホテル比較サイトランキング

https://cs.oricon.co.ip/

https://life.oricon.co.jp/rank-bargain-hotels-website/

■オリコン顧客満足度®ランキングとは



2024年 オリコン顧客満足度®調査 航空券比較サイト/ホテル比較サイト 第1位

オリコングループは、2006年に実際のサービス利用者のみを対象とした顧客満足度(CS)調査事業を開始。さまざまな業界・サービスのCSデータをランキング形式で提供。オリコンの調査は、特定の企業や個人からの委託ではなく、公正な第三者の視点のもと、オリコンが独自に企画・実施。

18

2025年3月期 1Q / 貸借対照表



- 自己資本比率90.8%で高い水準を維持
- 現預金残高は2,432百万円

単位:百万円				万円		2024/3末 実績	2024/6末 実績	増減額
	流動資産					3,210	3,149	-60
	現	金	及て	ド 預	金	2,626	2,432	-194
	そ		の		他	583	717	+133
		固定	定資產	Ē		2,453	2,140	-312
		資源	全合計	†		5,663	5,289	-373
		流動	助負債	Ę		338	363	+24
		固定	定負債	Ę		213	110	-102
		負債	責合計	†		551	473	-78
		純資	産合	計		5,111	4,816	-295
	資		本		金	648	648	-
	資	本	剰	余	金	473	473	-
	利	益	剰	余	金	3,606	3,543	-62
	そ		の		他	383	151	-232
	負債純資産合計					5,663	5,289	-373

会社概要(2024年6月末時点)



会社名 株式会社オープンドア

設立 1997年4月

代表者 代表取締役社長 関根 大介

資本金 648百万円

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場(証券コード:3926)

旅行比較サイト「トラベルコ」 事業内容 多言語旅行比較サイト「Travelko」

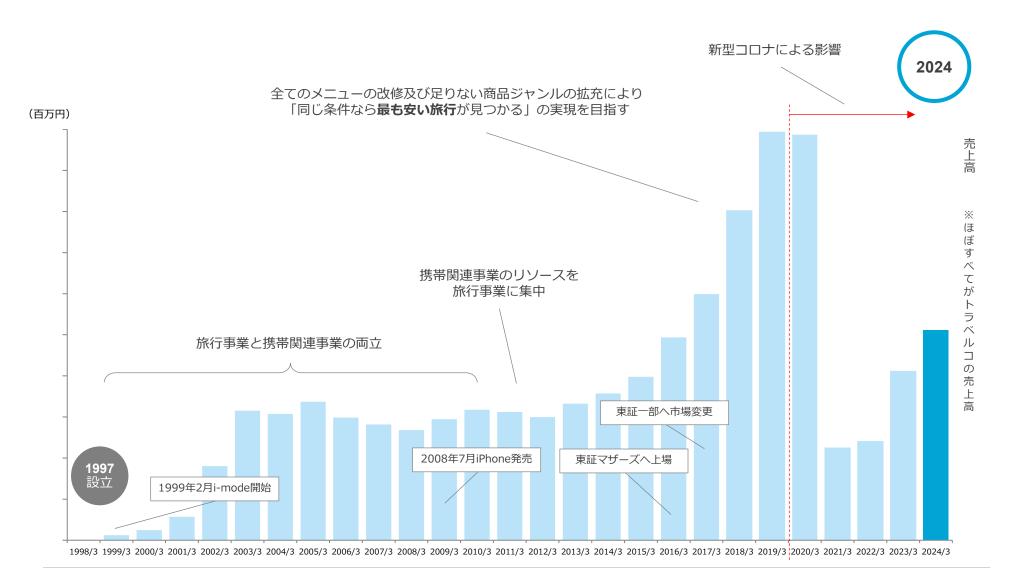
伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」「KOGEI JAPAN」の運営

連結子会社 ホテルスキップ株式会社 出資比率100% ホテル・航空券の予約、手配、販売

従業員数 連結198名

これまでの歩みと売上高の推移





当社サービス / 旅行比較サイト「トラベルコ」



1,500以上の旅行サイトの商品を比較・検索できる旅行比較サイト





当社サービス / 多言語旅行比較サイト「Travelko」



海外及びインバウンド市場をターゲットとした海外版トラベルコ





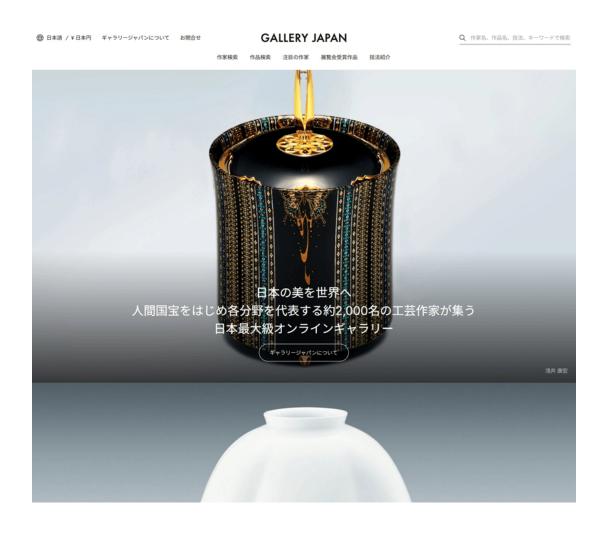
対応言語

英語 中国簡体字 繁体字(台湾) 繁体字(香港) 韓国語

当社サービス / 伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」



海外及びインバウンド市場をターゲットとした"伝統工芸作品"を世界へ紹介するサイト



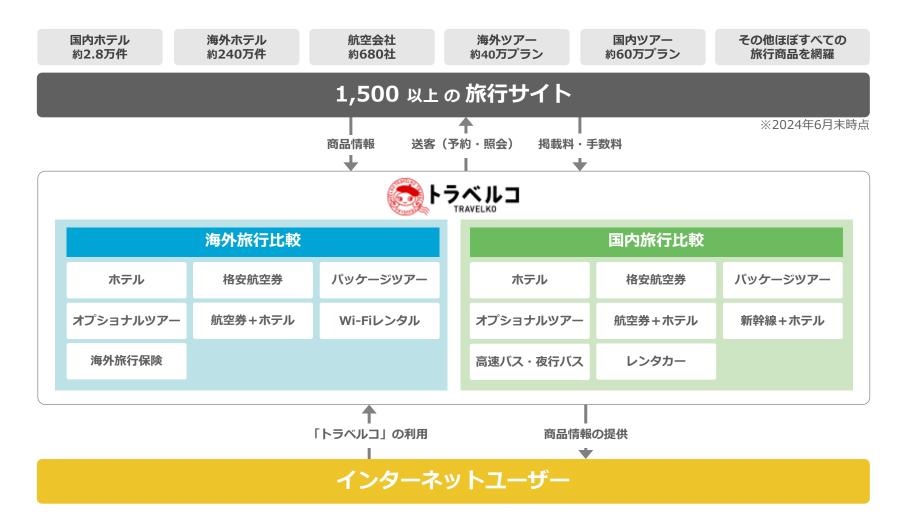


対応言語 英語 日本語

トラベルコ / ビジネスモデル



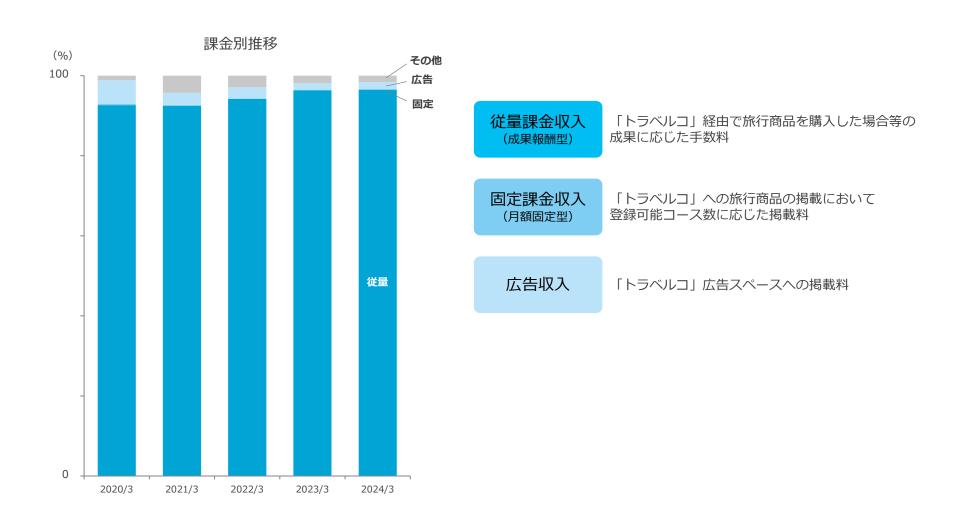
ほぼすべての旅行商品を比較できるビジネスモデル



トラベルコ / 収益モデル



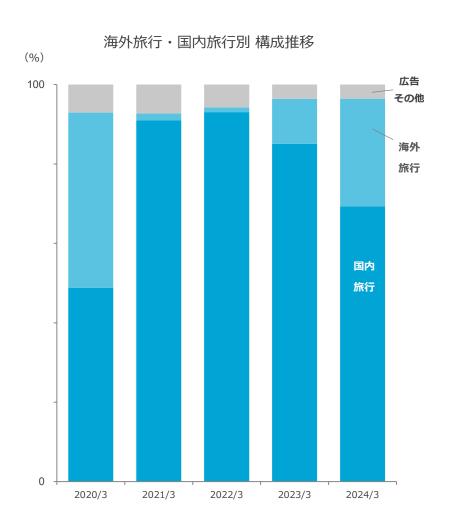
収益モデルは成果報酬型の従量課金収入がメイン



トラベルコ / 海外旅行・国内旅行別売上高構成



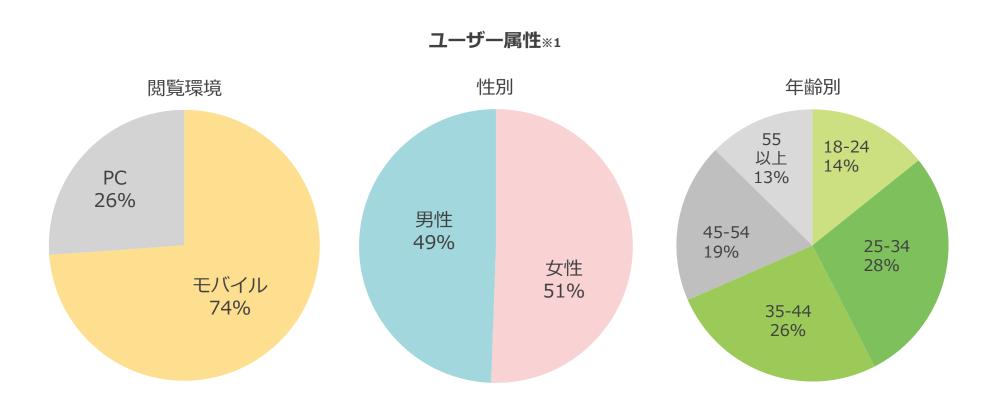
新型コロナの影響により国内旅行がほとんどを占めていたが、海外旅行が徐々に回復



トラベルコ / ユーザー属性



新型コロナの期間を経て、男性ユーザーが増加、加えて55歳以上及び18歳から24歳の年齢層を中心に増加



※1 2023/7-2024/6までの当社アクセス解析データ

トラベルコの強み・特徴サマリー①



多くの比較サイトがある中で、なぜトラベルコはこれだけ幅広いユーザーから支持を得、高い成長を維持できているのか?

1. ほぼ全ての旅行ジャンルをカバー

多くの他社がホテルだけ、航空券だけなどジャンルを絞った比較をしている中で、トラベルコは国内・海外ほぼ全ての旅行ジャンルをカバーしています。ホテル、航空券、パッケージツアー、ダイナミックパッケージ、オプショナルツアー、レンタカー、高速バス、海外Wi-Fiレンタル、海外旅行保険など。

これによりユーザーは自分の旅行をトラベルコのサイト内でワンストップで探せます。

海外旅行比較						
ホテル	格安航空券	パッケージツアー				
オプショナルツアー	航空券+ホテル	Wi-Fiレンタル				
海外旅行保険						

国内旅行比較					
ホテル	格安航空券	パッケージツアー			
オプショナルツアー	航空券+ホテル	新幹線+ホテル			
高速バス・夜行バス	レンタカー				

2. 最も安いプラン・チケットが見つかる

比較できる旅行サイト数が1,500以上にものぼるトラベルコは、もちろん比較できるプラン数も日本最大級です。なので、同じ条件で最安値が見つかる確率は自然と高くなります。

それに加え、旅行サイト側も全ての比較サイトに同一の価格でプランを掲載しているわけではありません。より価格競争が厳しいサイトには、より安く価格を設定する場合が多いのです。

なので、旅行サイト数が圧倒的に多く、競争率が高いトラベルコではさらに最安値が見つかりやすくなるのです。

JTB クラブツーリズム JALパック 小田急電鉄 JR東海ツアーズ 近畿日本ツーリスト 日本旅行 HIS 東武トップツアーズ 阪急交通社 ANA X 読売旅行 名鉄観光サービス ベルトラ

楽天トラベル るるぶトラベル Yahooトラベル

Expedia Booking.com agoda Trip.com

エアトリ Spring Japan スカイチケット スターフライヤー

…1,500以上の旅行サイト

トラベルコの強み・特徴サマリー②



なぜトラベルコはそのような強みを実現できているのか?

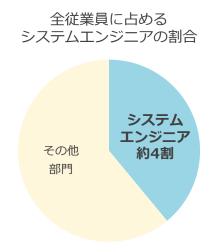
ほぼ全てのシステム開発を内製化

これだけ多くの旅行ジャンルをカバーし、1,500以上の旅行サイトと連携し、またそれら全てを並行して進化させていくためには、膨大かつ高度なシステムの開発が必要となります。

多くの他社は開発を外注しており、その場合、どうしても外注先のリソース、スキル、 スケジュール、優先順位に左右され、自分たちの思い通りの開発はなかなか困難です。

当社は、ほぼ全てのシステムを内製で開発しており、約80名のシステムエンジニアが 日々情報を共有しながら、市場トレンドに合わせ柔軟かつ効率的な開発環境を敷いてい ます。これによりスピード感をもって、かつ高いクオリティを維持しながら並行して全 ての進化を支える開発体制が実現できています。

この非常に高い開発能力も、当社の強みを実現できている大きな理由のひとつです。



本資料の取り扱いについて



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計 原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。



株式会社オープンドア

本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、 下記までお願いいたします。

株式会社オープンドア 管理本部

ホームページ: https://www.opendoor.co.jp

32